

さくら保育園 令和7年度 自己評価

厚生労働省のガイドラインに基づいて、206問のチェック項目において、職員に自己評価をさせました。

自己評価の結果集計表

さくら保育園

分野		回答	イ. よく出来ている		ロ. ほぼ出来ている		ハ. 努力が必要		計	
1. 保育の理念・保育観		11.6 /17	68 %	4.4 /17	26 %	1 /17	6 %	17 /17	100 %	
2 保育の内容	1) 保育計画・指導計画	6.2 /12	52 %	4.7 /12	39 %	1.1 /12	9 %	12 /12	100 %	
	2) 乳児保育	11.2 /15	75 %	3.8 /15	25 %	0 /15	0 %	15 /15	100 %	
	3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)	11 /15	72 %	4 /15	27 %	0 /15	1 %	15 /15	100 %	
	4) 3歳以上児保育	ア. 基礎的事項	7.3 /9	81 %	0.3 /9	4 %	1.3 /9	15 %	9 /9	100 %
		イ. 健康	8.8 /12	74 %	1.3 /12	11 %	1.8 /12	15 %	12 /12	100 %
		ウ. 人間関係	6.1 /9	68 %	1.5 /9	17 %	1.3 /9	15 %	9 /9	100 %
		エ. 環境	4.5 /8	56 %	2.5 /8	31 %	1 /7	13 %	8 /8	100 %
		オ. 言葉	7.5 /11	68.1 %	2 /11	18.1 %	1.5 /11	14 %	11 /11	100 %
		カ. 表現	7.8 /10	78 %	0.6 /10	7 %	1.5 /10	15 %	10 /10	100 %
	5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育	7 /12	58.3 %	4.4 /12	36.3 %	0.6 /12	5.3 %	12 /12	100 %	
6) 行事	5.6 /10	56.5 %	3.6 /10	36.5 %	0.7 /10	7 %	10 /10	100 %		
7) 延長保育	2.5 /5	50 %	1.7 /5	35 %	0.7 /5	15 %	5 /5	100 %		
3. 保健活動・安全管理		9.8 /14	70 %	3.1 /14	22.1 %	1.1 /14	8 %	14 /14	100 %	
4. 保護者・地域社会・関係機関との連携		9.2 /17	54.1 %	5.1 /17	30 %	2.7 /17	16 %	17 /17	100 %	
5. 地域の子育て支援		2.7 /7	39 %	2.9 /7	41 %	1.4 /7	20 %	7 /7	100 %	
6. 保育園の職務・役割分担		6.1 /11	55 %	3.8 /11	35 %	1.1 /11	10 %	11 /11	100 %	
7. 保育士としての資質向上(研修・研究活動)		6.1 /12	51.3 %	4.2 /12	35.4 %	1.6 /12	13.3 %	12 /12	100 %	
合計		131.0 /206	63 %	53.9 /206	26.4 %	20.7 /206	11.0 %	206 /206	100 %	

総評

「よく出来ている」は昨年と変わらないものの、「ほぼ出来ている」は-5%に比べ「努力が必要」は+4.3%と、昨年度に比べ、全体の自己評価は下降する結果となりました。取り組みの中で、思うような成果に繋がらなかった点や継続力に課題を感じた一方で、先生たち自身の課題が明確になったことは大きな収穫でもあります。この反省を踏まえて、目標設定や日々の目標を見直し改善していきたいと思えます。

回答は、あてはまる枠にチェック印を記入して下さい。

- イ. よく出来ている
- ロ. ほぼ出来ている
- ハ. 努力が必要

例 イ ロ ハ (イ.よく出来ている場合)

1 保育の理念・保育観

- 1-1 イ ロ ハ
あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。
- 1-2 イ ロ ハ
児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育者の重要な使命だと理解していますか。
- 1-3 イ ロ ハ
あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方法を考えるときにガイドラインとしていきますか。
- 1-4 イ ロ ハ
あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。
- 1-5 イ ロ ハ
あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということを意識して保育していますか。
- 1-6 イ ロ ハ
今日の保育園には、入園している子どもの保育だけでなく、ひろく地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。
- 1-7 イ ロ ハ
あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方が多様であることをご存知で、それらを尊重する心を育てよう努めていますか。

- 1-8 イ ロ ハ
子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。
- 1-9 イ ロ ハ
あなたは、日頃から、子どもに身体虐待や精神的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。
- 1-10 イ ロ ハ
あなたは、個人情報保護の原則に配慮し、子どもやその家庭について秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。
- 1-11 イ ロ ハ
あなたは、「子ども・子育て応援プラン」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。
- 1-12 イ ロ ハ
様々な特徴(障害)を持つ子どもも持たない子ども、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。
- 1-13 イ ロ ハ
育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、先ず相手の気持ちを受けとめ、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。
- 1-14 イ ロ ハ
子どもの家庭状況が多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。
- 1-15 イ ロ ハ
子どもが熱中しているときは、そのときの保育の内容や流れに突更が生じてても、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性をもっていますか。
- 1-16 イ ロ ハ
あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいきますか。
- 1-17 イ ロ ハ
あなたは、一人ひとりの子どもにも目が行き届いていたが振り返り、これからの保育の課題をみつめることができますか。

イ	ロ	ハ	計
			17

2 保育の内容

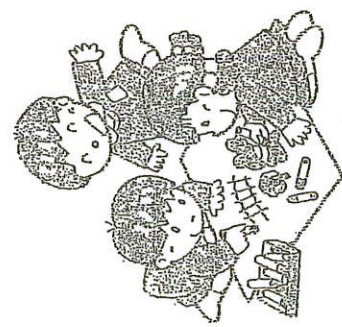


1) 保育計画・指導計画

- ①-1 あなたは、指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしていますか。
イ ロ ハ
- ②-1 あなたは、保育園の方針である保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。
イ ロ ハ
- ③-1 保育には指導計画（年・月・週・日案など）の作成という、あらかじめ見通しをもった計画性が必要だと思いますか。
イ ロ ハ
- ④-1 あなたの月・週案などには、教育的側面（五領域の視点）だけでなく、養護的側面（身体的事項）もしっかり盛り込まれていますか。
イ ロ ハ
- ⑤-1 あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか。
イ ロ ハ
- ⑥-1 子ども一人ひとりの発達や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成していますか。
イ ロ ハ
- ⑦-1 あなたの月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されていますか。
イ ロ ハ
- ⑧-1 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てていますか。
イ ロ ハ

- ⑨-1 園の保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・週・日案などのねらいや内容を、保護者にわかるように説明できますか。
イ ロ ハ
- ⑩-1 あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。
イ ロ ハ
- ⑪-1 月・週・日案などが、実際の子どもの姿、興味・関心に合っているかという視点から自分の保育を評価・反省していますか。
イ ロ ハ
- ⑫-1 月1回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。
イ ロ ハ

	イ	ロ	ハ	計
				12



3) 3歳未満児保育(1・2歳児保育)

21-23 大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか。



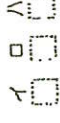
24-25 「できな、やっ」と言えたりとけるときは、その程度、その子の気持ちを受けとめ、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。



26-30 あなたは子どもの「これなに?」「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその程度答えようとしていますか。



31-32 探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えようとして、子どもが要求する行動を容認できますか。



33-34 着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。



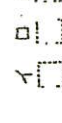
35-36 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気や食事ができることを第一に考えていますか。



37-38 子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、抱擁のないうような配慮しつつ、子どもの発達の種類や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができていますか。



39-40 「おや、何だろう?」「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意する心配りをしていますか。



41-42 散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたら、子どもとともに自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか。



43-44 子どもと会話をするとともに、その子の目線に合わせて顔をゆくり回して、子どもが話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。



45-46 あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆったり、はつきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけをしていますか。



47-48 子どもに「絵本を読んでも」「遊んでも」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに配慮していますか。



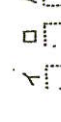
49-50 歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせて、一緒に楽しむことができますか。



51-52 わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしていますか。



53-54 自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間ととり、ゆったりと待つことができますか。



イ	ロ	ハ	計
			15

4) 3歳以上児保育

イ. 健康

- 2-45 ② あなたは、「食育」の考え方を大切にし、食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、テーブルの配置や飾りつけなども工夫していますか。
イ 〇 八
- 2-46 ② あなたは、子どもが、肥満の手伝いなど、食事に興味をもてるような機会を作るようにしていますか。
イ 〇 八
- 2-47 ② 「食育」の活動の一環として、調理をしているところを子どもに見せたり、栄養士や調理員の話を聞かせたりして、子どもが食材や食事に興味をもつようにしていますか。
イ 〇 八
- 2-48 ② 給食のメニューやレシピ、食に関する情報を保護者に知らせるなど、発育期にある子どもの食事の大切さに関心をもってもらおう努力をしていますか。
イ 〇 八
- 2-49 ② 天気の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように言葉をかけていますか。
イ 〇 八
- 2-50 ② トイレに行くことをさせさせたり、強制したりせずに、一人ひとりの排泄の欲求に合わせているようにしていますか。
イ 〇 八
- 2-51 ② おもらしをさせたり、排泄の後始末がうまくいかなくても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の指導がなされていますか。
イ 〇 八
- 2-52 ② 子どもたちが快い疲労感を感じて昼寝に入れるよう、十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。
イ 〇 八

4) 3歳以上児保育

ア. 基礎的事項

- 2-43 ② 子どもが緊張したり、不安を感じたときにはあたたかく受けとめ、母親のようにやさしく接するなど、家庭的な雰囲気づくりに心がけていますか。
イ 〇 八
- 2-44 ② あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を聞いて、信頼関係をつくる努力をしていますか。
イ 〇 八
- 2-45 ② 子ども一人ひとりの背景や保護者の状況を理解し、受けとめて、安心して甘えられるように、その子の気持ちに寄り添い、支えていますか。
イ 〇 八
- 2-46 ② あなたは、今まで大事に飼っていた小鳥などの小動物が死んだとき、子どもと悲しみを共有し、生命の大切さを伝えていきますか。
イ 〇 八
- 2-47 ② 子どもが自己表現できるように、その時どきの要求や気持ちを聞き取り、どの子どもも自分が愛されていると実感できるように接していますか。
イ 〇 八
- 2-48 ② 子ども一人ひとりの必要に応じて、心も体もゆったりとくつろげるための空間と時間をつくり出す努力をしていますか。
イ 〇 八
- 2-49 ② 少しでもふだんと違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけていますか。
イ 〇 八
- 2-50 ② 日常生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の不具合などの早期発見に努めていますか。
イ 〇 八
- 2-51 ② 季節感や味わえる環境を整えたり、心地よい音楽を流すなど、なかなかつくろいで過ごせる室内の環境づくりを心がけていますか。
イ 〇 八

イ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	八	<input type="checkbox"/>	計
					9

4) 3歳以上児保育

力、表現

イ ハ

②-99 子どもと一緒に楽しい表情を目にしたときなど、あなたは「きれいな」だけでではなく、もっと多様な言葉でその感動を表現していますか。

イ ハ

②-90 あなたは、「早く〜しなさい」、「だめ」、「いけません」などの指示・命令する言葉や禁止語をできるだけ使わないようにしていますか。

イ ハ

②-97 子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えうるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。

イ	<input type="checkbox"/>	ハ	<input type="checkbox"/>	計
				11

イ ハ

②-92 見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。

イ ハ

②-93 あなたは、その子が感じたままを作品や歌やダンスなどで表現していることをくみ取ることができですか。

イ ハ

②-94 あなたは、絵などの作品に、その子の喜びや悲しみ、驚きなどの感動を触れ取りようとしていますか。

イ ハ

②-95 活動の場面に応じて、リズムやボリュウムなどに配慮して子どもの耳に良く響く音を提供していますか。

イ ハ

②-96 鈴・カスタネットなどのリズム楽器を活用し、子どもが音色やリズムの楽しさを体験できるようにしていますか。

イ ハ

②-97 友達との合奏が、一人で楽器を鳴らすこととは違った楽しさもあることを体験できるよう、あなたは盛り上げる役を果たしていますか。

イ ハ

②-98 子どもが自分の作品を大切にされていると感じられるように、褒めのしかたなどを工夫していますか。

イ ハ

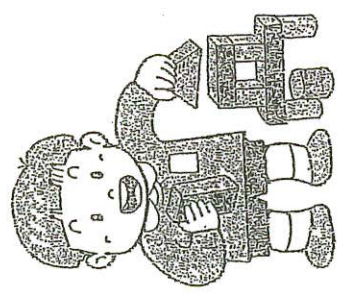
②-99 子どもが、いつでもすぐに使えるように、クレヨン・絵の具・粘土・紙などを手近に用意していますか。

イ ハ

②-100 ハサミなど危険を伴う道具には、正しい使い方や後片づけのしかたを日常的に指導していますか。

イ ハ

②-101 子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れていますか。



イ	<input type="checkbox"/>	ハ	<input type="checkbox"/>	計
				10

5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども（障害児）の保育

- ②-102 保育園は、障害をもつ子どももそうでない子ども「共生」「共育」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。
- ②-103 障害児が入園した時、安全管理や個別対応などその子を受け入れるための保育を、積極的に進めようと考えていますか。
- ②-104 障害児について特別な疑問をなげかけてくる子に対して、必要に応じて障害の性質や行動の困難さなどについて、丁寧に説明していますか。
- ②-105 あなたは、障害児もそうでない子ども互いのよさを感じとり、楽しく交流できる雰囲気づくりに取り組んでいますか。
- ②-106 あなたは、障害児の世話をし過ぎる子どもや、逆に無関心な子どもの存在に気づき、それへの配慮を心がけていますか。
- ②-107 あなたは園でのケース会議で積極的に議論することにより、園内の障害児への理解を深めるよう努力していますか。
- ②-108 あなたは、障害児により適切な保育をするために、様々な専門機関等と連携をしていますか。
- ②-109 障害児の保護者が、様々な苦しみや悩みを抱えてきていることを、触れ合うなかで感じることはありませんか。
- ②-110 日常的に障害児の保護者との話し合いの場等を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけていますか。
- ②-111 就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分し方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。
- ②-112 障害児を受け入れられている園の方針を、健常児の保護者に理解してもらええるように努力していますか。
- ②-113 障害児保育をより豊かなものにするために、子どもたちにふさわしい環境・物的環境（遊具等）を整えるなどの努力をしていますか。

イ	ロ	ハ	計
			12

6) 行事

- ②-114 あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。
- ②-115 「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもへの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。
- ②-116 みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。
- ②-117 あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」工夫を凝らしていますか。
- ②-118 子ども達が期待をもって「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。
- ②-119 「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。
- ②-120 保護者が参観する「行事」のときには、保護者の節制にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見せたいという気持ちのゆとりをもっていませんか。
- ②-121 あなたは「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。
- ②-122 保護者や地域住民にも参加してもらいような「行事」については、園だよりや広報紙等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。
- ②-123 子どもも保護者も期待感をもつ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。

イ	ロ	ハ	計
			10

② 保育の内容

② 保育の内容

7) 延長保育・一時保育

21-124 イ ロ ハ

長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に監やカーベットで
 寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気を感じてい
 ますか。

21-125 イ ロ ハ

次々にお迎えが来るなかで、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、
 その子の気持を受け止めて、安定した気持で待つことができよ
 う適切な対応をしていますか。

21-126 イ ロ ハ

あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配
 慮していますか。

21-127 イ ロ ハ

延長保育の子どもには、担任でなくても、園での様子が保護者に
 十分伝わるよう、連絡ノートやおたよりを活用していますか。

21-128 イ ロ ハ

延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるよ
 うな工夫をしていますか。

21-129 イ ロ ハ

一時保育の申し入れには、保護者の事情等の子どもとの背景を十分
 に考慮しつつ、その子を受け入れることができますか。

21-130 イ ロ ハ

慣れない所に一時的に預けられる子どもへの不安な気持ちを考えて、
 予定している日案を変更するなど柔軟な姿勢をもっていますか。

21-131 イ ロ ハ

一時保育で受け入れた子どもが、集団の中で遊べるよう、遊びを
 工夫したり仲立ちしたりしていますか。

21-132 イ ロ ハ

一時保育で受け入れる子どもが安定できるよう、遊びのコーナ
 や遊具・教材などの準備に配慮していますか。

21-133 イ ロ ハ

一時保育や延長保育の子どもへの保護者に、緊急の連絡がとれるよ
 うな手だてを随認していますか。

イ	ロ	ハ	計
			10



⑧ 保健活動 安全管理

イ 〇 ハ

⑧-1 身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保健師や他の職員に伝えるときにも、日常の保育に生かしていますか。

イ 〇 ハ

⑧-2 その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や微細の状態をつかむよう努めていますか。

イ 〇 ハ

⑧-3 あなたは、子どもに何らかの異常がみつかった場合、より適切な処置ができるように、嘱託医の指導を受けるなど日頃から学習をしていますか。

イ 〇 ハ

⑧-4 あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。

イ 〇 ハ

⑧-5 子ども一人ひとりの体調をしっかりと把握し、食事の量や内容を交えるなどの配慮をしていますか。

イ 〇 ハ

⑧-6 あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。

イ 〇 ハ

⑧-7 アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導のもとに適切な対応をしていますか。

イ 〇 ハ

⑧-8 あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。

イ 〇 ハ

⑧-9 備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。

⑨ 保健活動 安全管理

イ 〇 ハ

⑨-10 園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を頻りに返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。

イ 〇 ハ

⑨-11 地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならぬかが理解していますか。

イ 〇 ハ

⑨-12 登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができですか。

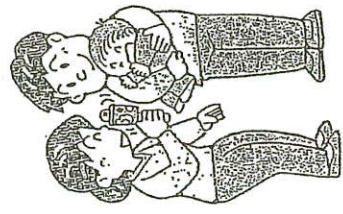
イ 〇 ハ

⑨-13 そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していただきますか。

イ 〇 ハ

⑨-14 不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。

イ	〇	ハ	計
			14



5

- 5-1 ⑤ あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを目指していますか。
イ ロ ハ
- 5-2 ⑤ あなたは、保育園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的にかわりたいと考えていますか。
イ ロ ハ
- 5-3 ⑤ あなたは、相談の基本原則（受容・相互信頼関係・個別性・自己決定・秘密保持）について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか。
イ ロ ハ
- 5-4 ⑤ あなたは、本来業務の保育に支障がない限り、電話相談などの子育て支援を行いたいと思いますか。
イ ロ ハ
- 5-5 ⑤ あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等（保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等）の機能についてよく知っていますか。
イ ロ ハ
- 5-6 ⑤ あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施するときには、協力するつもりですか。
イ ロ ハ
- 5-7 ⑤ 保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。
イ ロ ハ

イ	ロ	ハ	計
			7

6

- 6-1 ⑥ 園長や主任の指示がどういう意図で出されているかわからず、あなたが、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。
イ ロ ハ
- 6-2 ⑥ 園長や主任などと意見が合わないとき、十分に話し合おううえで、あなたは上同の指示に従うことができますか。
イ ロ ハ
- 6-3 ⑥ 登園を嫌がることが続くなど、問題を感じたとき、あなたは園長や主任、先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談していますか。
イ ロ ハ
- 6-4 ⑥ あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。
イ ロ ハ
- 6-5 ⑥ 職員会議等で自分の意見や考えと違う結論が出たときも、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。
イ ロ ハ
- 6-6 ⑥ 栄養士など保育士以外の職種の人たちが保育にかかわるとき、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育士としてのあなたの役割が何であるか理解していますか。
イ ロ ハ
- 6-7 ⑥ あなたは保育士として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待をもっていますか。
イ ロ ハ
- 6-8 ⑥ あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注進事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連絡に努めていますか。
イ ロ ハ
- 6-9 ⑥ あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。
イ ロ ハ
- 6-10 ⑥ あなたは、たとえば自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。
イ ロ ハ
- 6-11 ⑥ あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を願われたとき、それも職務の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。
イ ロ ハ

イ	ロ	ハ	計
			11

6 地域の保育支援

⑥ 保育園の役割分担

7 保育士としての資質と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。

- 7-1 イ ロ ハ
- 7-2 イ ロ ハ
- 7-3 イ ロ ハ
- 7-4 イ ロ ハ
- 7-5 イ ロ ハ
- 7-6 イ ロ ハ
- 7-7 イ ロ ハ
- 7-8 イ ロ ハ

あなたは、保育士としての資質と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。

あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題をみつけることができますか。

自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。

保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。

あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかりと記録に留めることができますか。

あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつめ、キー・スタッフ・ス・アドバイザーをすることができますか。

あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を読みつけて、そこから学ぶことができますか。

あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べるすることができますか。

のほかに、保育士としての資質向上（研修・研究活動）

- 7-9 イ ロ ハ
- 7-10 イ ロ ハ
- 7-11 イ ロ ハ
- 7-12 イ ロ ハ

あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立っていますか。

あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。

あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思えますか。

あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。

イ	ロ	ハ	計
			12